

The Specialists

東邦大学医療センター大橋病院
呼吸器内科

講師 こ だか のり お
小高 倫生



呼吸器疾患のすべてに迅速に対応させていただきます。

●はじめに

東邦大学医療センター大橋病院呼吸器内科にて医局長を務めております。日本内科学会の総合内科専門医、指導医、日本呼吸器学会の専門医、指導医、日本アレルギー学会と日本呼吸器内視鏡学会の専門医資格も有しております。当科においては積極的に専門医を育成しており、私以外にも上記専門医の資格は多数の呼吸器内科医が有しております。

当科では、呼吸器疾患に関して良悪性問わず幅広く診療を行っています。日本は世界に類を見ない高齢先進国であり、呼吸器疾患は今後も増加することが予想されています。大学病院でありながら、市中の急性期病院である特徴を生かして、普遍的なcommon diseasesから生命に関わる難治性疾患まで幅広い呼吸器疾患に対して診療と臨床研究を行っています。医局員一同、先進的医療だけでなく、これまでと同様にさらにこれまで以上に心のこもった医療を心がけてゆきたいと考えております。患者さんの診療でお困りの際には、急性慢性、良悪性を問わず、遠慮なくご紹介いただければ幸いです。

●対象疾患

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、呼吸器感染症（肺炎、抗酸菌感染症）、悪性腫瘍（肺癌、転移性肺癌）、気胸、胸膜疾患（胸膜炎、膿胸）、難治性咳嗽など

●閉塞性肺疾患 （気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患）

我が国の二大閉塞性肺疾患である気管支喘息（BA）と慢性閉塞性肺疾患（COPD）の診療に関しては、当院には呼気一酸化窒素（FeNO）測定装置や強制オシ

レーション法（FOT）による呼吸抵抗測定装置が常備されており、院内検査部の精密肺機能検査と合わせて、最新の呼吸生理学的検査を行っています。また呼吸生理学的検査と血清バイオマーカー（ペリオスチンやYKL-40等）を組み合わせることで病態解明や治療効果予測を行い、治療薬として生物学的製剤をふくめ適切な治療を施行しております。さらに気管支喘息、COPD、慢性咳嗽、アレルギー性気管支肺真菌症については、当科の松瀬教授を中心に我が国の学会の診療ガイドライン作成にも携わっております。

●感染症

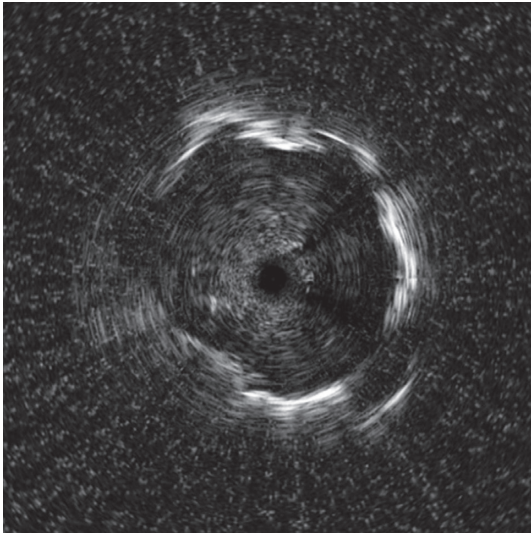
感染症分野においては、肺炎に対して必要時には、即日採血検査また胸部CT検査を施行し、外来入院加療を積極的に施行しております。

さらに肺MAC症を代表とする非結核性抗酸菌症も近年増加傾向の著しい呼吸器感染症であり、自然増悪因子の解析により、早期に抗菌治療を開始すべき症例の臨床像を明らかにする臨床研究を行っています。

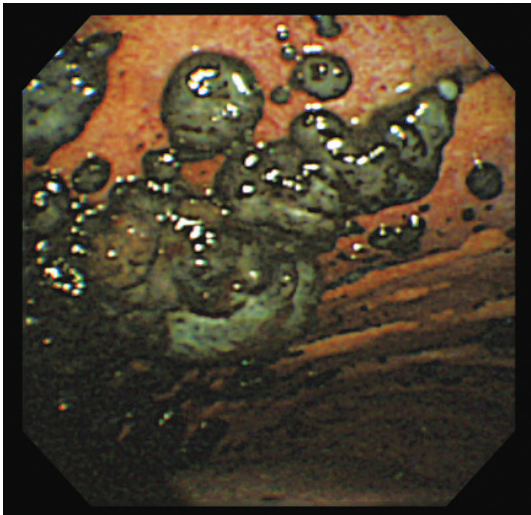
●悪性腫瘍

当院では高精度定位照射が可能な放射線治療装置に加えて、超音波内視鏡・自家蛍光内視鏡システムも導入され、ガイドラインに沿った最新の肺癌治療が可能となっています。

私を含め呼吸器内視鏡専門医が在籍しており、超音波気管支鏡によるEBUS-GS、TBNAなどの検査も積極的に施行しており、現在は、特に免疫チェックポイント阻害薬を含む化学療法に対する高齢者進行肺癌の予後因子の検討を行っています。原因不明の胸水貯留症例に対しては、局所麻酔下胸腔鏡検査を行っており、胸水中の腫瘍マーカーと胸膜の肉眼所見の組み合わせによる良悪性疾患の鑑別を行っています。



超音波気管支鏡
(Endobronchial Ultrasonography : EBUS)



胸腔鏡肉眼所見 / 左側:肺多型癌 右側:悪性黒色腫

● アレルギーその他の呼吸器疾患

当科には私を含め、アレルギー専門医、指導医が多数在籍しており、気管支喘息、アレルギー性気管支肺真菌症（ABPM）等の診療に関して、呼吸生理学的検査と血清バイオマーカーを組み合わせて病態解明や治療効果予測を行い、生物学的製剤を含めた治療を施行しております。その他間質性肺炎や気胸等に関しても気管支内視鏡検査でのTBLB検査だけでなく、呼吸器外科とも協力し部分肺切除（VATS）を行い、間質性肺炎の確定診断も施行しております。気胸、膿胸に関しても胸腔ドレナージを呼吸器内科で施行するとともに、手術が必要な場合はすぐに呼吸器外科で手術ができるように密な連携が呼吸器科で構築できております。

● 終わりに

皆様におかれましては、大切な患者様の病診連携にご協力いただき誠にありがとうございます。我々呼吸器内科は松瀬厚人教授をはじめ、中野千裕助教、押尾剛志助教、渡邊賀代修練医、新妻久美子修練医、今泉知里非常勤医師、森田浩嗣レジデント、廣内尚智レジデントと私の9名で診療にあたっております。この度、大橋病院呼吸器内科の診療の一部をご紹介させていただきました。呼吸器疾患でお困りの際にはぜひご連絡いただければ、迅速に精査させていただきます。原因不明の呼吸困難や胸痛また違和感の中にも、呼吸器疾患が隠れていることもございます。お気軽にご紹介いただければ幸いに存じます。初診時、診療終了後には、速やかにご紹介もとに経過をご報告するように心がけております。地域の中核病院として皆様のお役に立てるようにこれからも努力して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

■外来診察日：木曜日午後、金曜日午前

診療のご予約は・・・

病診連携部門あてに「診察・検査FAX予約申込書」をお送り下さい。

病診連携連絡先

病診連携部門

TEL: 03-3481-7385 FAX: 03-3468-6191



東邦大学
医療センター | 大橋病院
Toho University Ohashi Medical Center

〒153-8515 東京都目黒区大橋2-22-36 電話 03-3468-1251
http://www.ohashi_med.toho-u.ac.jp/
携帯用サイト http://www.ohashi_med.toho-u.ac.jp/m/

